

障がいのある方の雇用に取り組む

大成被服工業株式会社(京都市山科区)

「京都はあとふる企業」です

主な事業内容：ユニフォーム等の加工・販売

【障がいのある方が従事している仕事】
ユニフォーム等への刺繍、入荷管理・検品など



【障がい者雇用の経過】

- ・30年以上前の刺繍工場の立ち上げ以来、延べ5名の聴覚障がいのある方を雇用してきました。
- ・現在、勤続13年の聴覚障がいのある方がコンピューター・オペレーションによる刺繍加工を、昨年雇用の精神障がいのある方が入荷管理・検品を担当しています。
- ・京都中小企業家同友会のインクルージョン委員会に参加し、障がい者雇用についての学習や交流や啓発活動をしています。



【特に工夫していること】

- ・定期的な面談や日常的なコミュニケーションを心がけながら、時間をかけて仕事を身に付けてもらうようにしています。
- ・刺繍担当の聴覚障がいの方には、3年間前任者について学んでいただきました。筆談と手話がコミュニケーション手段ですが、最低仕事に必要な色などの手話は本人が他の従業員に教えました。
- ・精神障がいの方には、専任の社員が指導しました。マニュアルもあり、当初少し辛そうでした。勤務時間を週16時間とし、支援機関のサポートも得て安定されてきました。

【Hさんに聞きました】

- ・まだ半年です。学校卒業後働いていましたが、体調を崩し自宅で療養しました。発達障がいと分かり、3年間就労移行支援事業所に通いました。
- ・小さい時は他の人と違うと感じていましたが、大人になって特性がはっきりし、自覚するようになりました。
- ・入荷管理・検品を担当しています。当初は慣れるまで大変でしたが、勤務時間の配慮や支援者からのアドバイスもいただき、生活リズムが整ってきて徐々に自信がつかってきました。続けて働き、貯金もしたいと思っています。

